

組合だより

第 247 号 平成27年1月 日本羊腸輸入組合

明けましておめでとうございます。旧年中は、組合の業務運営に対しましてご理解・ご協力を賜り、御礼申し上げます。

組合活動報告欄に昨年の受付数量を記載しておりますが、本年も昨年以上の数量となるよう天然腸需要の拡大を祈念し、併せて、組合員及び関係者のみなさまのご健勝とご発展を祈念申し上げます。

末年ということで羊の生態を見てみましたら、「聴力は良く、視力についても優れた周辺視野をもつ」とのことです。関係者の方々の御意見をよく聞き、世の中の動きを広く捉え、組合員の皆様に役立つよう組合業務に携わっていきたいと思います。ただ、この視力についてはオチが付いてまして、奥行きはあまり知覚できないそうです。それではダメで、深く物事を考察し取り組むことも忘れずにいたいと思います。

本年も引き続きご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

1. 組合の活動報告

○12月 3日 第3回検査委員会

佐藤委員長他6名の全委員と3検査所長等が出席し、組合会議室に於いて開催されました。

10月に行った横浜及び新山下検査所の視察で指摘した改善事項に対する進捗状況の確認、衛生管理システム改訂作業に加え、今年度中に実施する予定の保存試験の実施内容について、検討を行いました。

○12月12日 第7回理事会、懇親会

川村理事長他4理事、両監事、3検査所長等が出席し、上野東天紅に於いて開催されました。検査委員会から要請のあった保存試験の実施及び事務局から提案のあった就業規則の見直し方針について審議・了解した他、天然腸輸入・消毒動向等について確認しました。

また、理事会終了後に理事・監事・各委員会副委員長と全職員を対象とした懇親会を開催しました。日頃、組合役員や検査所同士で話す機会が少ない職員にとっても楽しい一時が過ごせたと思います。

○輸入統計等の情報提供

【財務省通関統計】

平成26年11月の天然ケーシングの総輸入量は、227.6トンとなり、前月比△80.9トン、△26.2%でした。国別では、中国原産のものが141.3トン（前月比△53.6トン、△27.5%）、オーストラリア原産のものが65.9トン（+17.0トン、+34.8%）、ニュージーランド原産のものが17.7トン（前月比△25.7トン、△59.2%）でした。

また、昨年1～11月の累計輸入量は、3,380.5トンとなり、前年同期比546.5トンの増加（+19.3%）となっています。

【組合受付統計】

○平成26年12月の受付数量は、901,084ハクス（前月比+27,397ハクス、+3.1%）でした。対前年同月比は、+6.1%です。

船舶、航空の別は次のとおりです。

船舶 853,702ハクス 航空 47,382ハクス

○平成26年の消毒受付数量は、9,821,337ハクス（前年比+1,536,524ハクス、+18.5%）となりました。

2. 検査所だより

成田検査所の動向

明けましておめでとうございます。旧年中はお世話になり、ありがとうございました。今年は羊（ひつじ）年です。当組合にとって良い年になりますよう願っています。今年も成田職員一同、健康管理に留意し、仕事に精進するつもりですので、よろしく願いいたします。

①12月の航空貨物の受付数量は、47,382ハクスでした。先月が3万ハクスを下回っていたため対前月比は179.6%です。

②12月5日「畜産物の輸入検査場所の指定に係る説明会」に東所長が参加しました。現在の指定が2月末日で期限が切れますので、3月1日から引き続き指定して頂くよう申請手続きを行っております。

③12月11日、川村理事長及び依田専務理事が成田税関所長及び動検所長に年末の御挨拶をされました。

④12月分の受付数量及び消毒数量等は下表のとおりです。

種	類	前月からの繰越	受 付	消 毒	翌月への繰越
航空	羊 腸	7,120	47,382	54,502	0
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	7,120	47,382	54,502	0
船舶	羊 腸	29,000	30,082	59,082	0
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	29,000	30,082	59,082	0
合計	羊 腸	36,120	77,464	113,584	0
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	36,120	77,464	113,584	0

(単位：羊・豚腸：Hks、牛腸：Bundle)

横浜検査所の動向

あけましておめでとうございます。

旧年中は、皆様にお大変お世話になり、ありがとうございました。

本年も職員一同、体調管理に十分注意し、引き続き円滑な業務処理に努めて参りますので、よろしく願いいたします。

本年はひつじ年であり、関係者の皆様、並びに組合にとって大きく飛躍できますよう、願っております。

①インフルエンザ及びノロウィルスの発症例が見られるようになってきたため、職員に手洗い・うがい等の励行、また、インフルエンザの予防接種を受けるよう周知しました。

②12月1日に動物検疫所による消火器施設の年次点検が実施され、無事終了しました。

③12月24日に羊腸消毒所に設置されている、受水槽及び給水ユニットの保守点検を実施し、衛生管理の円滑な遂行を期することとしました。

④12月の受付数量は、853,702Hksと前月に比べて6,400Hks増加し、前月比100.8%となっています。また、消毒数量は、330,658Hksで、前月比69,218Hksの増加となっています。なお、成田転送は、30,082Hks（2回）です。

⑤12月末受付分の消毒終了予定は、消毒貨物が順調に搬入された場合には、平成27年2月6日（金）です。

（注）消毒予定の順番は、当分の間、搬入期日が決まった順に消毒することにしてありますので、消毒終了予定が受付番号順と異なることがあります。

⑥12月の受付数量、消毒数量、成田転送状況は、下表のとおりです。

種別	前月の繰越分	受付数量	消毒数量			成田転送数量	翌月への繰越分
			横浜	新山下	小計		
羊腸	704,802	853,702	316,658	347,550	664,208	30,082	864,214
豚腸	23,500	0	14,000	5,000	19,000	0	4,500
計	728,302	853,702	330,658	352,550	683,208	30,082	868,714
牛腸	0	0	0	0	0	0	0

（単位：羊・豚腸：Hks、牛腸：Bundle）

新山下検査所の動向

明けましておめでとうございます。昨年中は皆様に大変お世話になりました。

本年も職員一同、健康管理に留意し事故の無いよう安全、安心な消毒、検査業務に努めますので宜しくお願いいたします。

①12月4,5日にコマツ教習所（川崎）にて、フォークリフトの技能講習会があり、当所の宇野消毒職が受講し消毒業務の効率化を図ることとしました。

②12月の受付数量及び消毒数量は、下表のとおりです。

種別	前月の繰越分	受付数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	37,000	385,194	347,550	74,644
豚腸	0	5,000	5,000	0
計	37,000	390,194	352,550	74,644
牛腸	0	0	0	0

（単位：羊・豚腸：Hks、牛腸：Bundle）

3. 今後の主な予定

- 1月21日(水) 第8回理事会及び新年賀詞交歓会
- 1月28日(水) 第3回内外市場調査・弘報委員会
- 2月10日(火)～15日(日) モロッコ王国市場調査
- 3月18日(水) 第9回理事会

4. 事務局から

既にご案内が届いていると思いますが、新年1月21日(水)に日本羊腸輸入組合の賀詞交換会を五反田「イルカヴァロ」で開催いたします。新年を迎え大変お忙しいとは存じますが、是非、ご参加賜りたくご案内申し上げます。